

「七里御浜防風林 GG 作戦」を実施しました！

七里御浜国有林で、3月10日（日曜日）、「七里御浜松林を守る協議会」の呼びかけのもと、「平成30年度七里御浜防風林 GG 作戦」を地域の方々と実施しました。

GGとは、グリーン(松林を守り) グロー(育てる)という意味で、平成5年度から植樹や林内清掃に取り組んでおり、今回で24回目となりました。

七里御浜国有林は、三重県南部の熊野市、御浜町、紀宝町に位置し、熊野灘に面した延長約25kmの海岸防災林で、地域の生活や農作物を海からの強風や潮害、飛砂等から守るため保安林として重要な役割を果たしています。

また、「吉野熊野国立公園」にも指定されており、その他「日本の渚百選」「日本の白砂青松百選」「21世紀に残したい日本の自然百選」や、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のバッファ地域となっている等、林内や浜辺を散策するなど様々な方々の健康増進や憩いの場としても親しまれています。



これらのこともあり、七里御浜国有林は全国で1,055箇所あるレクリエーションの森の一つとして指定されていますが、その中でも特に美観に優れ、地域の方々がこの森を守るため協議会を設置していたり、ボランティア等での積極的な活動もあることから、「日本美しいの森 お薦め国有林」(全国で93箇所)に選ばれています。

近畿中国森林管理局内のレクリエーションの森（近畿中国森林管理局 HP）

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/mori_zukuri/recreation/index.html

日本美しいの森 お薦め国有林（林野庁 HP）

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/

当日は雨が降っておりあいにくの空模様でしたが、家族連れを含む約 100 名の方々が熊野市・御浜町・紀宝町の 3 会場に分かれ、松くい虫被害に抵抗性があるとされる「抵抗性クロマツ・2 年生」の苗を合計 170 本植樹しました。

今年度の植栽箇所は土が少し硬い部分や地中にノイバラなどの根っこが点在しており、スコップ等で穴を掘りにくい箇所もありましたが、皆さん慣れた手つきで丁寧に植えてくれました。来てくれた子どもたちも職員の植栽指導を熱心に聞き、周りの方々が植えている姿を見習い一生懸命に植えてくれました。

植えた後皆さんに感想を伺うと「植えたマツが元気に育って欲しい」、「悠然と佇む松林を再生できるように今後とも参加していきたい」との声が聞かれました。皆さんの気持ちを込めて植えていただいたマツ達がすくすくと生長していくよう、しっかりと管理していきたいと思えます。

この GG 作戦の活動を通し、風や砂から人々の生活を守ってくれる海岸防風林として、また、人々の癒やしの空間としての七里御浜国有林が地域の中で親しまれ、大きな役割を果たしているのだと改めて実感できました。

三重森林管理署では、今後ともこの美しい七里御浜をしっかりと管理し、地域にとってより親しまれる国有林にしていきたいと考えています。

※七里御浜松林を守る協議会とは

七里御浜松林の自然環境の整備等、公益的機能の維持向上を図るため、関係機関の連携を密にするとともに地域住民の協力も得て効果的かつ適切な対策を講じ、七里御浜松林の保全に資することを目的に、所在する紀宝町、御浜町、熊野市と三重県（熊野農林事務所）、環境省（近畿地方環境事務所）、三重森林管理署で構成する協議会。

熊野市会場



御浜町会場



紀宝町会場

